

13 学部・予科昼夜二部制採用にともなう学則改正の件認可

〔昭和四年三月〕

学則改正認可申請

(注記1) 今般本学学則中別記要項ノ通り改正致度候間何卒御認可相成度

此段申請候也

昭和四年一月廿九日

財団法人中央大学

理事学長 馬場愿治 印

文部大臣 勝田主計殿

(注記2)

要項

第三条ニ左ノ一項ヲ加フ

学部ハ昼間夜間ノ二部教授トシ大学予科第一予科ノ授業ヲ昼間トシ第二予科ヲ夜間トス

第四十四条ヲ左ノ通り改ム

予科ヲ分チテ第一予科及第二予科トス修学期間ハ第一予科ハ三学年第二予科ハ二学年トス

第四十五条「大学予科授業科目其配当及毎週授業時数左ノ如シ」ノ次ニ「第一予科」ヲ加ヘ新ニ左ノ如ク第二予科ノ授業科目、其配当及毎週授業数ヲ加フ

〔 (下 札) 〕

メントスル有為ノ青年ニ対シ前記ノ教育ヲ施シ得ル設備ニ至リテハ其数極メテ少ク多数ノ志アル者ヲシテ其進歩向上ノ途ヲ絶タシムルモノアルハ詢ニ遺憾ニ耐エサル所トス本加学ハ效ニ見ル所アリ此欠陥ヲ補フ為メ学則ヲ改正シテ大学予科ヲ二部制トシ来ル四月ヨリ夜間授業ヲ開始シ之ニ因ツテ主トシテ逆境ニ処シツ、大学教育ヲ受ケント欲スル有為ノ青年ニ対シ其途ヲ開キ質実剛健以テ之ヲ教養セシコトヲ期ス是レ今回学則改正ノ認可ヲ申請シタル所以ナリ

追テ学生生徒定員ハ現在ノ俣トス

学部定員増加願

今般本大学学部学生定員別紙ノ通り変更致度候条御認相成度此段及申請候也

昭和四年一月廿九日

東京市神田区南甲賀町六番地

財団法人 中央大学

理事学長法学博士 馬場愿治 印

文部大臣 勝田主計殿

定員増加予定表

学部	科別		増減
	新旧	新定員	
		一、六八〇	
		一、五六〇	
			(144) 二〇

定員ノ区分

定員ハ之ヲ左ノ如ク区分スルモノトス

定員	大学予科		学部
	第一予科	第二予科	
一、五六〇	一、三二〇	二四〇	法学部 七二〇
一、三二〇	一、三二〇	三六〇	経済学部 三六〇
			商学部 二四〇
			法学部 一六〇
			経済学部 一八〇
			経済学部 一二〇

(144) 三、經費

学部開設年度タル昭和六年度ニ五万円翌昭和七年度ニ五万円經常費ノ不足ヲ補ハシカ為ニ基本金中ニ合計金拾万円レヲ増加セントス

(別紙申込書ノ通り)

記

中央大学夜間学部開設ニ付基金トシテ左記ノ通寄附候也

一金五万円也 但シ払込期日ハ昭和六年三月十日

(注記3) 昭和四年一月二十八日

東京市本郷区丸山福山町三

馬場鉄一 印

中央大学御中

歳出之部

〔抹消〕 〔第一、供託金〕	昭和四年度	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度
	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇		
〔合計〕 〔加筆〕 〔第一、供託金〕	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇			
合 計	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇			

経費収支予算(予想調)

初年度(昭和四年度)

収入ノ部

一、総額金壹万四千九百円也

内訳

授業料 一二、〇〇〇 年額百円宛百二十人分
 試験其他 一、八〇〇 六円宛三百人分
 手数料
 入学料 六〇〇 五円宛百二十人分
 雑収入 五〇〇

支出之部

一、総額金壹万四千九百円也

内訳

職員給及雑給
 書記 一名 七二〇
 雑給 一名 二四〇

教員給

教員 一五名 一三、五六〇

内訳
 ◎専任六名平均月俸 一、二〇〇
 ○専任四名 五四〇
 兼任五名 〇〇〇

諸費

電燈及消耗品費 一八〇

臨時費及雑費 二一〇〇

備考

◎専任ハ第二予科専任

○専任ハ第一予科ヨリ兼務ノ者

第二年度(昭和五年度)

収入ノ部

一、総額金貳万七千六百五拾円也

内訳

授業料 二四、〇〇〇 年額百円宛二百四十人分
 試験其他 二、四〇〇 六円宛四百人分
 手数料
 入学料 七五〇 五円宛百五十人分
 雑収入 五〇〇

支出ノ部

一、総額金貳万七千六百五拾円也

内訳

職員給及雑給
 書記 二名 一、四四〇 平均月額六〇円
 雑給 一名 二四〇

教員給

教員 二五名 二五、三二〇

内訳
◎専任 一〇名 平均月額 一三〇〇
○兼任 九名
△兼任 六名 平均月額 六〇〇

諸費

電燈及消耗品費 三〇〇

臨時費及雜費

(抹消) 〇
(加筆) 五〇
(引) 三三

第三年度(昭和六年度)

収入ノ部

一、総額金四万三千四百五拾円也

内訳

授業料

予科 二四、〇〇〇 年額百円宛二百四十人分
学部 一三、二〇〇 年額百十円宛百二十人分

試験其他
手数料

二、四〇〇 六円宛四百人分

入学料

七五〇 五円宛百五十人分

雑収入

六〇〇

基本金利子

二、五〇〇 五万円年五分利

支出ノ部

一、総額金四万三千四百五拾円也

内訳

職員給及雑給

書記 二名

一、四四〇

平均月俸 六〇円

雑給 二名

四八〇

// 二〇〇

教員給

予科教員 二五名 二五、三二〇

内訳
◎専任 一〇名 平均月額 一三〇〇
○兼任 九名
△兼任 六名 平均月額 六〇〇

学部教員 一七名

二五、二二〇

内訳
◎専任 四名
○兼任 四名
△兼任 九名
平均月額 一三〇〇

諸費

電燈及消耗品費 四〇〇

臨時費及雜費 五九〇

備考

◎ハ専任
○ハ昼間部ヨリ兼務ノ者

第四年度

収入ノ部

一、総額金五万九千三百五拾円也

内訳

授業料

予科 二四、〇〇〇 年額百円宛二百四十人分
学部 二六、四〇〇 年額百十円宛二百四十人分

試験其他
手数料

二、四〇〇 六円宛四百人分

入学料

七五〇 五円宛百五十人分

雑収入

八〇〇

基本金利子

五、〇〇〇 拾万円年五分利

支出ノ部

一、総額金五万九千三百五拾円也

内訳

職員給及雑給

書記 二名 一、五六〇 平均月俸 六五円

雑給 二名 四八〇 〃 二〇

教員給

予科教員 二五名 二五、三二〇

内訳 ◎専任 一〇名 平均月額 一三〇〇
◎兼任 六名 六五〇〇

学部教員 三二名 三二、〇八〇

内訳 ◎専任 七名 一五五〇
◎兼任 一一名 六五五〇

諸費

電燈及消耗品費 四五〇

臨時費及雑費 四六〇

第五年度(昭和八年度)

収入ノ部

一、総額金七万式千五百五拾円也

内訳

授業料

予科二四、〇〇〇 年額百円宛二百四十人分

学部三九、六〇〇 年額百十円宛三百六十人分

試験其他

二、四〇〇 六円宛四百人分

手数料

入学料 七五〇 五円宛百五十人分

雑収入 八〇〇

基本金利子 五、〇〇〇 拾万円年五分利

(「支出ノ部」脱力)

一、総額金七万式千五百五拾円也

内訳

職員給及雑給

書記 三名 二、五二〇 平均年俸七〇円

雑給 三名 一、〇八〇 三〇

教員給

予科教員 二五名 二五、三二〇

内訳 ◎専任 一〇名 平均月額 一三〇〇
◎兼任 六名 六五〇〇

学部教員 四二名 四二、五二〇

内訳 ◎専任 八名 一六〇〇
◎兼任 一四名 七六〇〇

諸費

電燈及消耗品費 八〇〇

臨時費及雑費 九〇〇

印刷費 四一〇

昭和四年一月廿九日

中央大学学長 馬場愿治 印

文部大臣 勝田主計殿

大学予科教員割合数認可申請

本文学第二予科教員数並ニ専任教員及兼任教員ノ割合ヲ左記ノ通り御認可相成度此段申請候也

(加筆)

$$\begin{aligned}
 &78-32=46- \\
 &47-13=34- \\
 &57-20=37-31=36 \quad \text{兼} \\
 &3-6 \quad \text{専} \\
 &88-38=50-40 \\
 &48-16=32-31 \\
 &4-163 \\
 &96-54=42-40= \\
 &10:18
 \end{aligned}$$

記

教員種別
所要教員数
専任教員
兼任教員

教員数
二五
一九
六

第二予科教員配當時数
初年度(昭和四年度)

" 英語	科目許学								
" " " 英語	科目担任学								
	業毎時週数授	一	一	二	二				
" " " 専任	任ノ別兼								
文学士	ハ学称位号又								
未定	氏名	未定	未定	内藤修一郎	新津米造				

二年度(昭和五年度)

" 英語	科目許学									
" 漢国語	科目担任学									
	業毎時週数授	一〇	一〇	二	一	二	一	一	一	二
" " " 専任	任ノ別兼									
中央大学 法学士	ハ学称位号又									
未定	氏名	未定	未定	天野徳也	未定	未定	未定	未定	未定	新津米造 内藤修一郎

商業通論	心理学	地理学	歴史学	倫理学	自然科学	数学	漢国語	仏蘭西語	" 独語
二	二	二	四	二	二	六	一五	一六	一〇
" 専任	" "	" "	" "	" 兼任	" 兼任	" 兼任	専任	兼任	" "
	文学士							文学士	
和田清	出羽重三	見尾勝馬	未定	未定	未定	未定	未定	内藤濯	未定

哲学	論理学	心理学	心理学	地理学	歴史学	倫理学	自然科学	数学	"
商業通論	簿記	経済通論	哲学	論理学	心理学	地理学	倫理学	自然科学	数学
二	四	二	二	二	四	四	四	四	六
"	"	"	"	専任	"	"	"	兼任	"
商学士	商学士	文学士	文学士						
和田清	出羽重三	橋本良平	長崎玄勝	中島萬次郎	見尾勝馬	未定	未定	未定	金澤卯一

昭和四年一月廿九日

中央大学学長 馬場愿治



文部大臣 勝田主計殿

学部教員数認可申請

本大学夜間学部教員数左記ノ通り認可相成度此段申請候也

記

教員数	法学部	経済学部	商学部	内	専任教員
四一	一四	一六	一一		二八

科目	初年度 (昭和六)		二年度 (昭和七)		三年度 (昭和八)	
	時間数	教員数	時間数	教員数	時間数	教員数
憲法	三	一	七	一	七	一
行政法	二	一	六	一	六	一
民法	二	一	六	一	六	一
刑事訴訟法	二	一	八	一	二	一
刑法	四	一	四	一	八	一
外科学	四	一	四	一	八	一
経済学	四	一	四	一	八	一
財政学	二	一	二	一	二	一
社会学	二	一	二	一	二	一
羅馬法	二	一	二	一	二	一
商法	二	一	二	一	二	一
民事訴訟法	二	一	二	一	二	一
民事実習	二	一	二	一	二	一
国公立法	四	一	四	一	六	一
国際私法	四	一	四	一	六	一
法理学	二	一	二	一	二	一
法制史	二	一	二	一	二	一
破産法	二	一	二	一	二	一
計	二九	三	五九	四	八八	五
	△ ○ ◎		△ ○ ◎		△ ○ ◎	
	三二二		四二五		五四五	

法学部

学部教員予定表

◎専任
○昼間部ヨリ兼務者
△兼任

兼任教員

一三

経済学部

科目	初年度 (昭和六)		二年度 (昭和七)		三年度 (昭和八)	
	時間数	教員数	時間数	教員数	時間数	教員数
憲法	三	○	三	◎	七	◎
行政法	○	—	○	—	○	—
民法	○	—	◎	—	◎	—
経済学	四	—	四	—	八	—
財政学	二	—	二	—	二	—
政治学	二	—	二	—	二	—
社会学	二	—	二	—	二	—
簿記原	二	—	二	—	二	—
会計学	二	—	二	—	二	—
統計学	二	—	二	—	二	—
銀行論	二	—	二	—	二	—
交通政策	二	—	二	—	二	—
商業政策	二	—	二	—	二	—
農業政策	二	—	二	—	二	—
政治史	二	—	二	—	二	—
國際私法	二	—	二	—	二	—
國際公法	二	—	二	—	二	—
經濟史	二	—	二	—	二	—
經濟学	二	—	二	—	二	—
演習	二	—	二	—	二	—
外國為替	二	—	二	—	二	—
商會法	二	—	二	—	二	—
社会政策	二	—	二	—	二	—
工業政策	二	—	二	—	二	—
植民地政策	二	—	二	—	二	—
保險学	二	—	二	—	二	—
外交史	二	—	二	—	二	—

取引所論

計
二九
△ ○ ◎ 五三一
六五
△ ○ ◎ 五〇四
九四 二
○ ◎ △ 七二四一

商学部

科目	初年度 (昭和六)		二年度 (昭和七)		三年度 (昭和八)	
	時間数	教員数	時間数	教員数	時間数	教員数
憲法	三	○	七	◎	七	◎
行政法	○	—	○	—	○	—
民法	○	—	◎	—	◎	—
経済学	四	—	四	—	六	—
財政学	二	—	二	—	二	—
社会学	二	—	二	—	二	—
簿記学	二	—	二	—	二	—
会計学	二	—	二	—	二	—
統計学	二	—	二	—	二	—
銀行論	二	—	二	—	二	—
貨物論	二	—	二	—	二	—
取引所論	二	—	二	—	二	—
工業論	二	—	二	—	二	—
商業論	二	—	二	—	二	—
英語	二	—	二	—	二	—
商業英語	二	—	二	—	二	—
統計学	二	—	二	—	二	—
刑法	二	—	二	—	二	—
刑罰論	二	—	二	—	二	—
倉庫論	二	—	二	—	二	—
地庫論	二	—	二	—	二	—
商業事情	二	—	二	—	二	—
商業政策	二	—	二	—	二	—

計	破産法	植民政策	演習	工業政策	社会政策	保険論	交通論	国際私法	国際公法	農業政策
三三										
△ ○ ◎										
五五二										
七一										
△ ○ ◎										
七八四										
一〇三										
△ ○ ◎										
七二五										

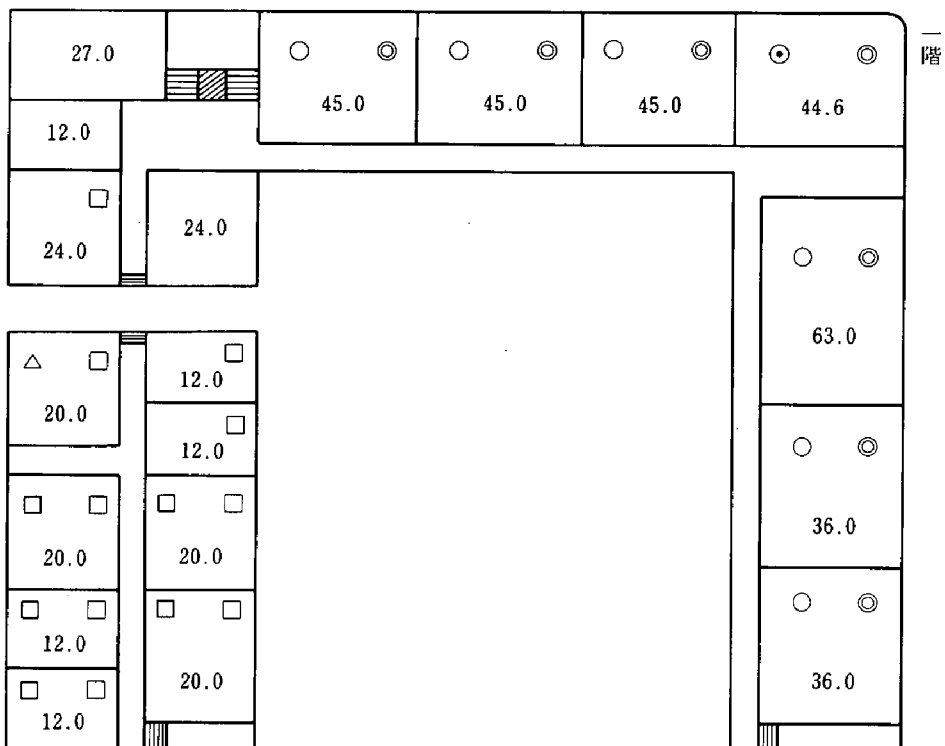
校舎平面詳細図(参照図)

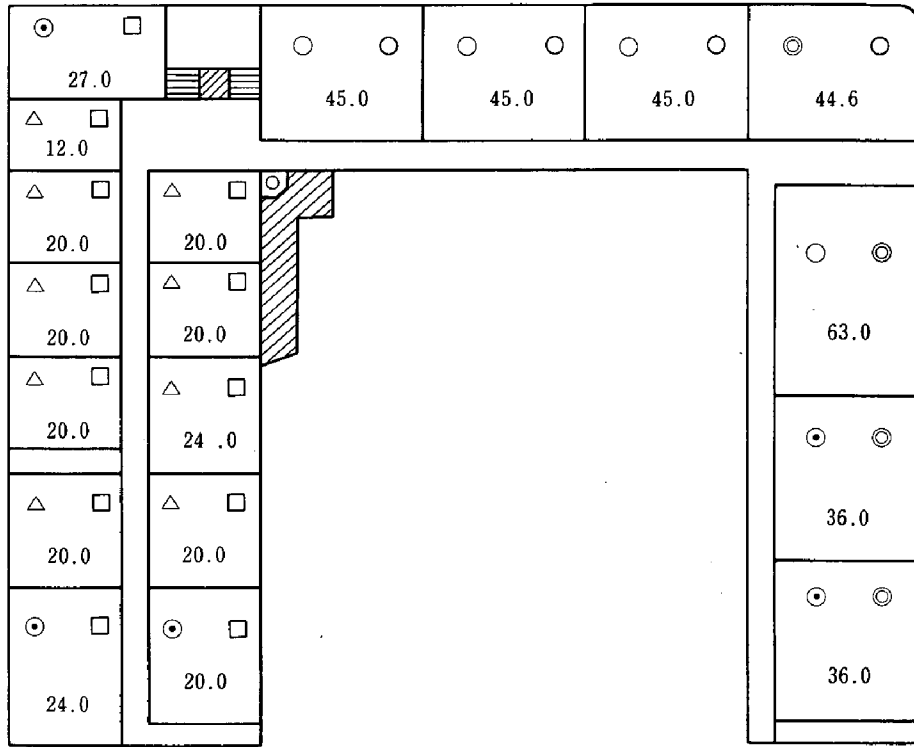
凡例

- 十 教室◎印ハ昼間学部使用教室 定員一、一九〇名
- 十 教室○印ハ昼間専門部使用教室 定員一、五〇〇名
法八〇〇
経四〇〇
高三〇〇
- 六 教室◎印ハ夜間学部使用教室 定員 三六〇名
- 十五 教室○印ハ専門部使用教室 定員 三、〇〇〇名
法一、五〇〇
経八〇〇
高七〇〇
- 三十五 教室□印ハ昼間予科使用教室 定員一、三二〇名(三十三学級)
- 十 教室□印ハ夜間予科使用教室 定員 二四〇名(六学級)
- 十五 教室△印ハ商業学校使用教室

備考 商業学部生徒定員六百名

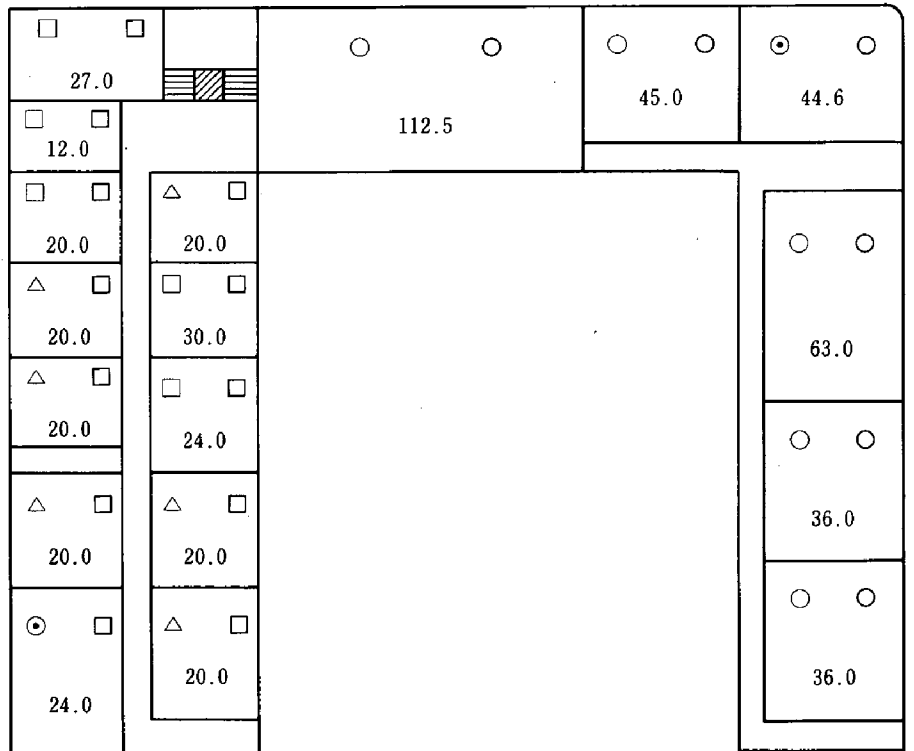
一学部定員五〇名 十二学級





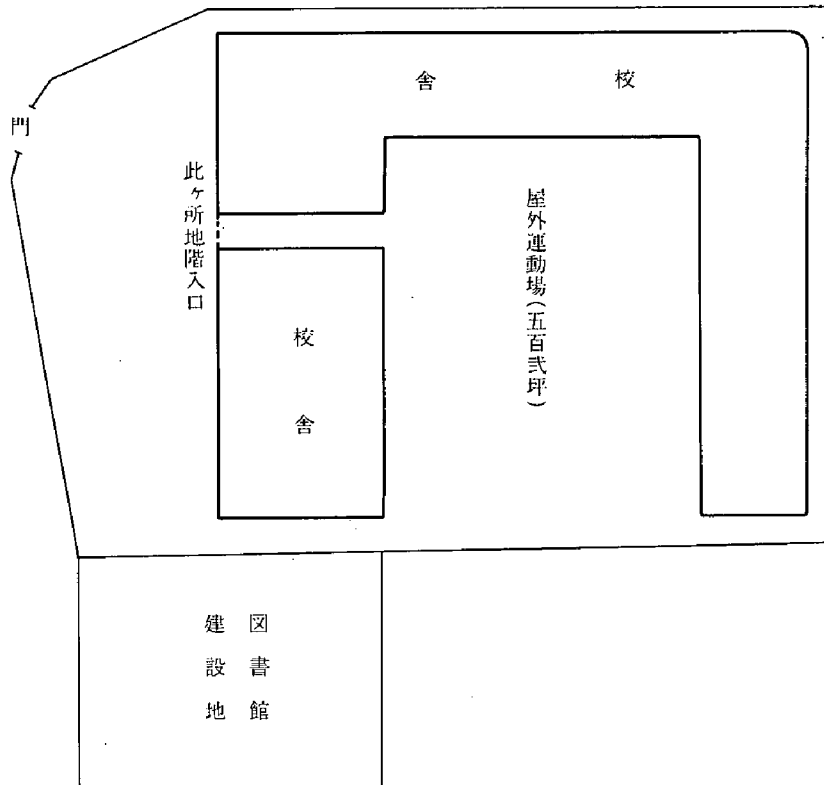
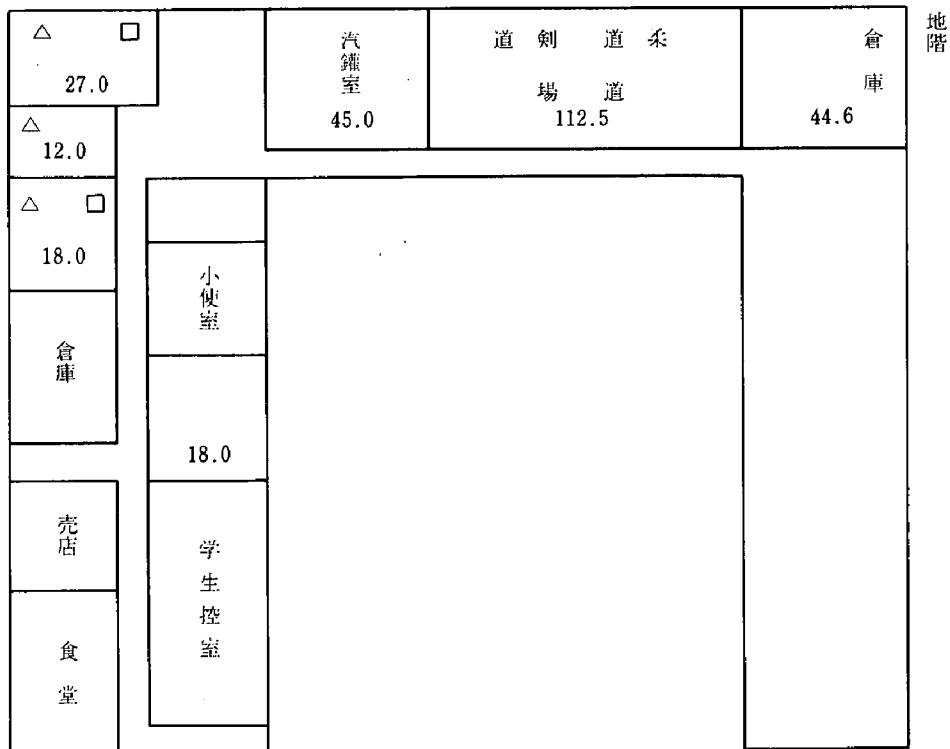
二階

- 凡例
- ◎ 印八昼間学部使用教室
 - 印八専門部使用教室
 - ◎ 印八夜間学部使用教室
 - 印八夜間専門部
 - 印八昼間予科使用教室
 - 印八夜間予科使用教室
 - △ 印八商業学校使用教室



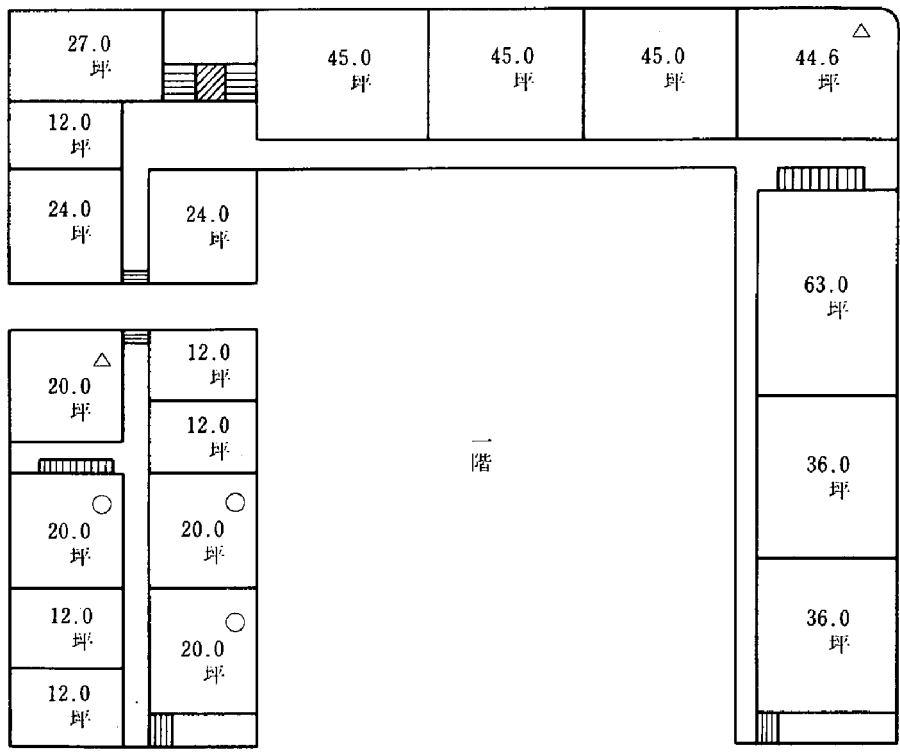
三階

- 凡例
- ◎ 印八昼間学部使用教室
 - 印八昼間専門部使用教室
 - ◎ 印八夜間学部使用教室
 - 印八夜間専門部使用教室
 - 印八昼間予科使用教室
 - 印八夜間予科使用教室
 - △ 印八夜間商業学校使用教室

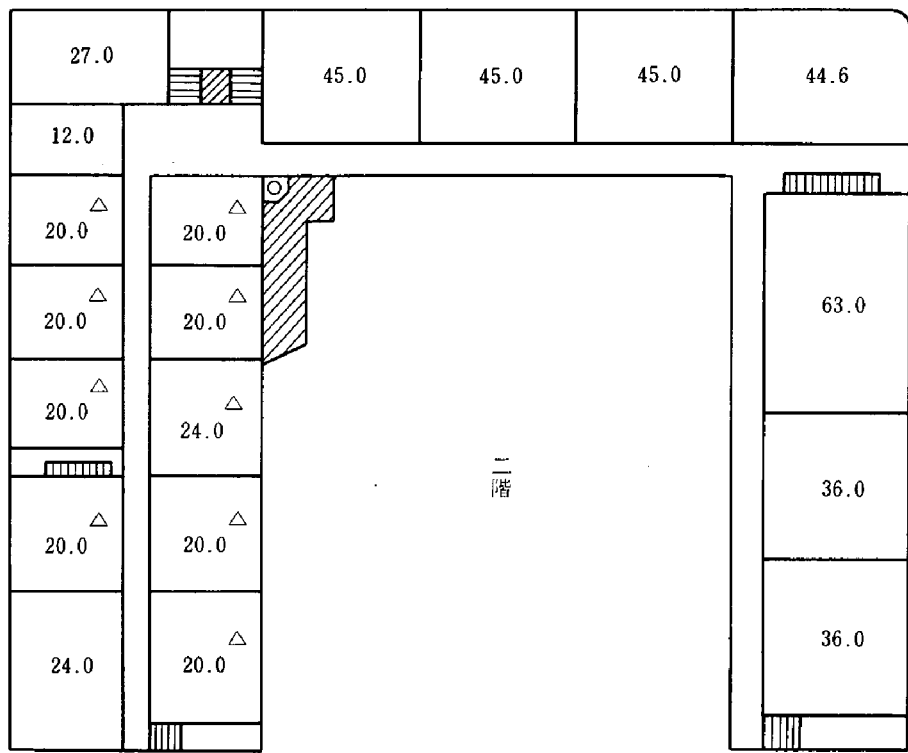


校舎平面詳細図

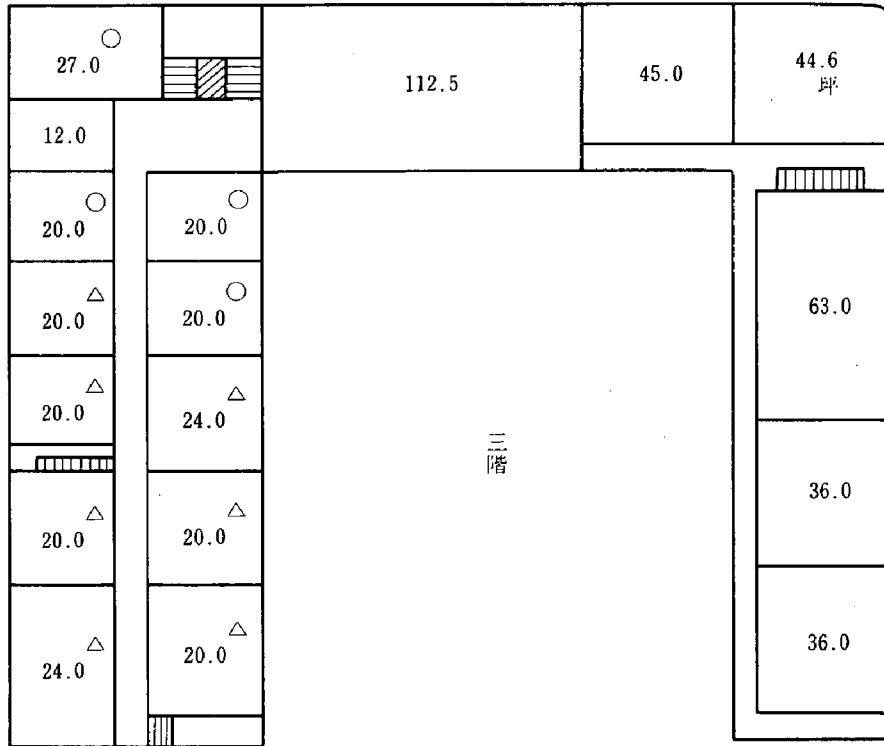
(○) 印ハ第二子科ニ使用スヘキ教室
(△) 印ハ商業学校教室



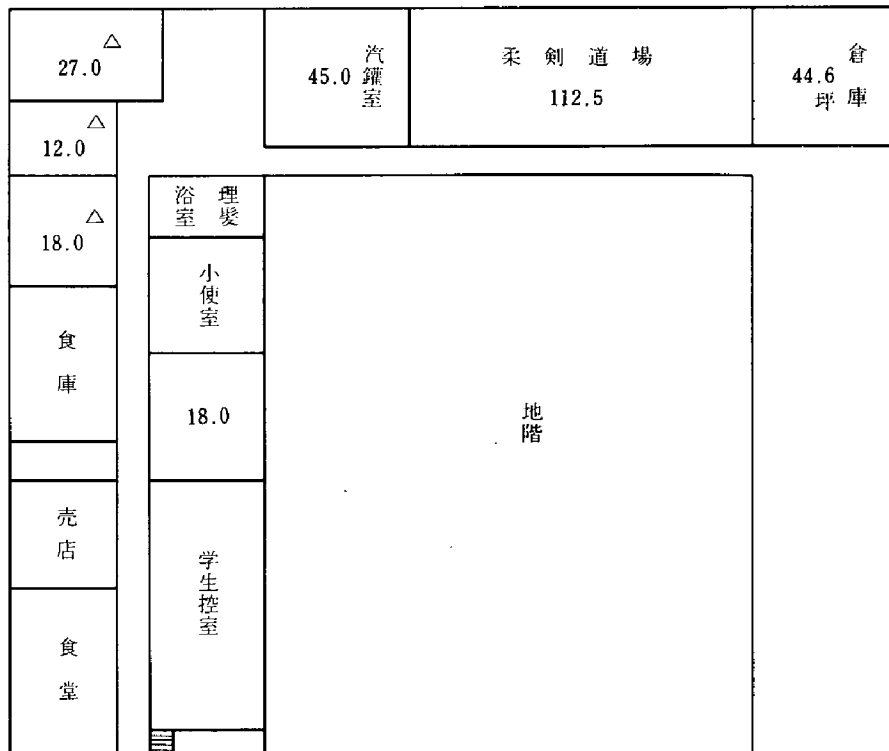
○ 印ノ分
二〇坪室参室



○ 印ノ分
二十七坪一室
二十四坪室一室



○印ノ分
二十坪室三室
二十七坪室一室



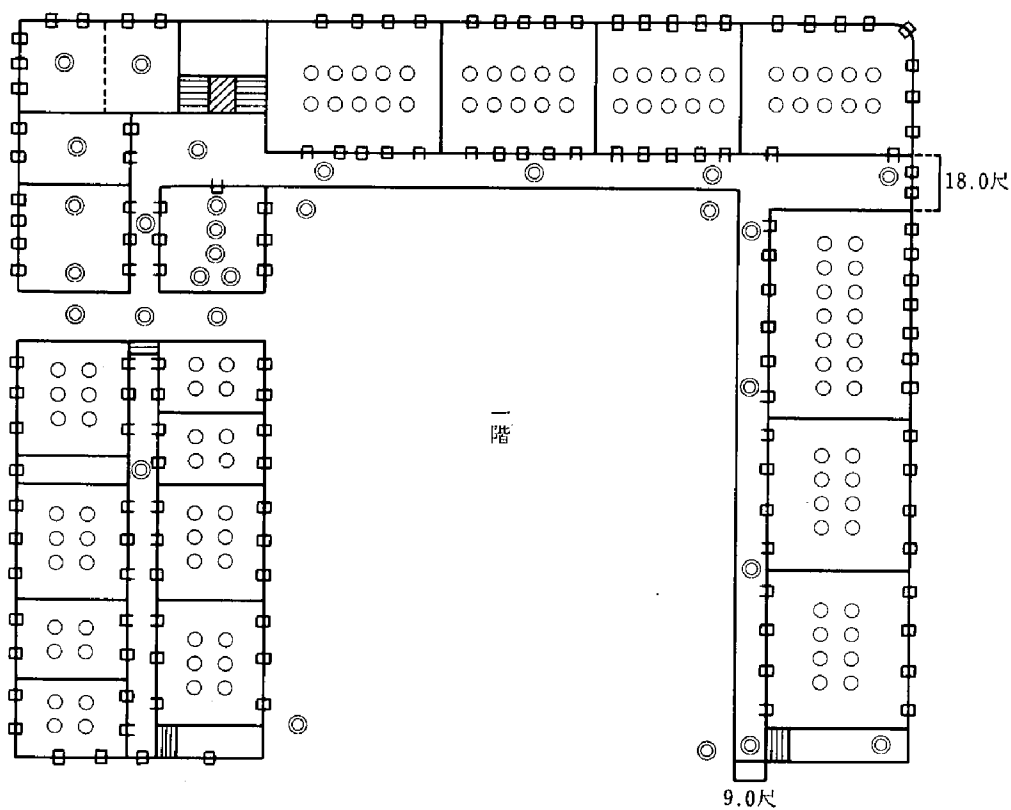
照明ヲ示ス図

凡例

屋外運動場燭光
白燭光

◎ 直接照明
○ 間接照明

中・窓
中・出入口

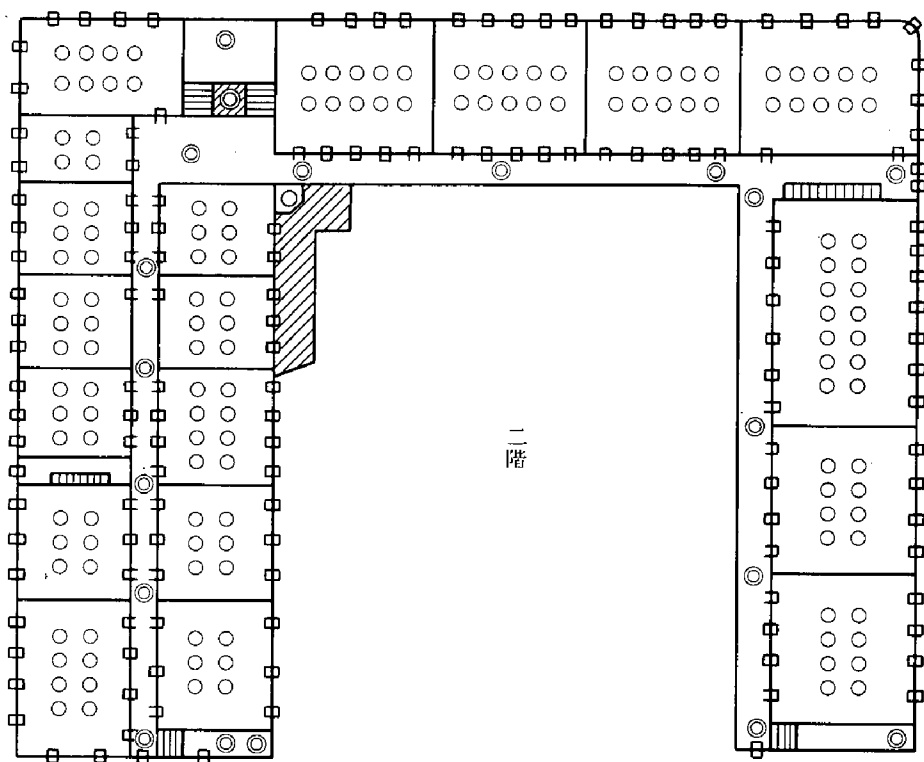


照明ヲ示ス図

凡例

◎ 直接照明
○ 間接照明

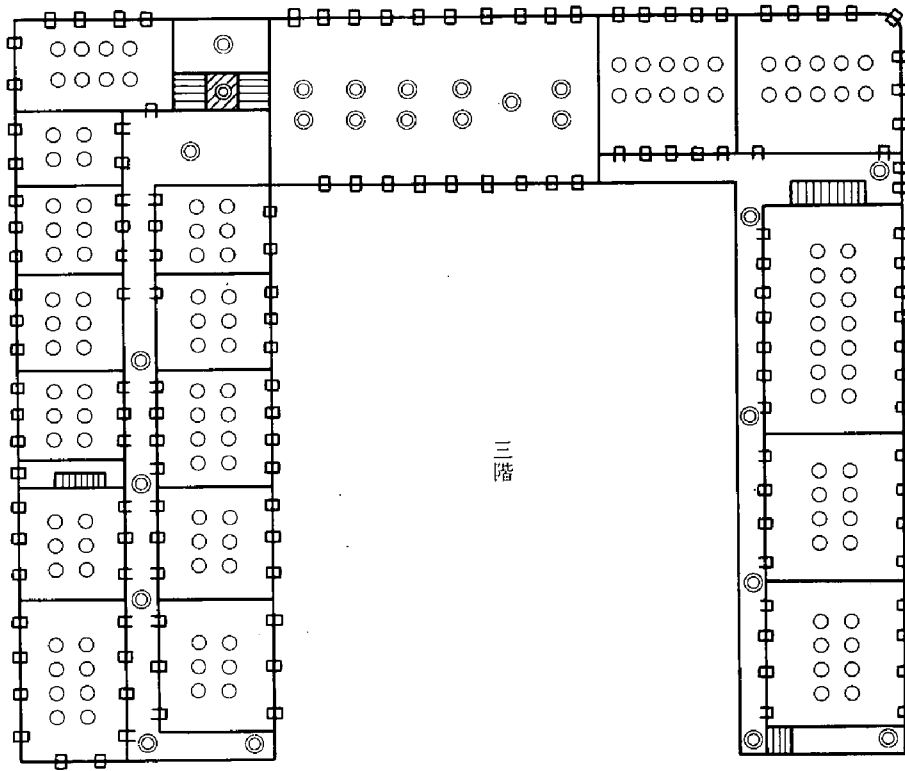
中・窓
中・出入口



照明ヲ示ス図

凡例

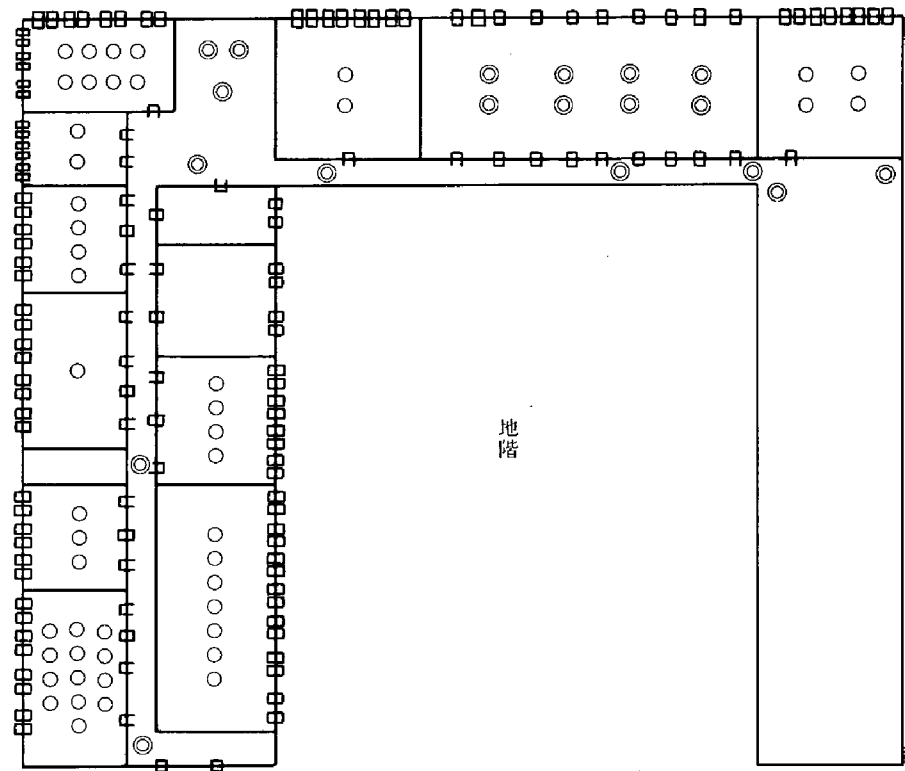
- ◎ 直接照明
- 間接照明
- 窓
- 中・出入口



照明ヲ示ス図

凡例

- ◎ 直接照明
- 間接照明
- 窓
- 中・出入口



(注記5)

東專四八号
定決裁
3月12日
文書課長
(山下)
送
3月19日
起案者
(豊田)

(注記7)

昭和四年三月二日起案
 学務課長 (河原)
 専門学務局長 (片山)
 (栗原)
 次官 (野村)
 野村督学官 (野村)
 (窪田)
 (注記8)

(注記6)

(丸岩)
 (田中)
 (春山)

私立大学々則変更ノ件

案

中央大学設立者

財団法人 中央大学

昭和四年一月廿九日申請学則中変更ノ件認可ス

年 月 日

文部大臣

備考 変更ノ要旨

一、学部ノ授業ヲ昼間夜間ノ二部授業ト為サントス

一、予科ヲ第一予科ト第二予科ニ分チ第二予科ノ授業ヲ夜間ト

シ夜間学部ニ連絡セシム

一、予科修業年限

第一予科(昼間)

三年(従前ノ通)

第二予科(夜間)

二年(新規計画ノモノ)

一、学生生徒定員

予科定員ニ変更ナシ 学部二二〇名増加

定員	一、五六〇名	一、六八〇名
昼間	第一予科 一、三二〇	一、三二〇
夜間	第二予科 二四〇	三六〇
		法学部 七二〇
		経済学部 三六〇
		商学部 二四〇
		経済学部 二六〇
		商学部 二八〇

一、教室 別紙図面ノ通ニシテ大体支障ナキモノト認メラル

一、教員

専任教員	昼間 三二	昼間 四〇
	夜間 一九	夜間 二八
兼任教員	昼間 一三	昼間 三一
	夜間 六	夜間 一三

一、経費別紙ノ通

(注記9)

今回夜間授業計画ニ対シ大学基本金トシテ更ニ拾万円ヲ
 備入(抹消)
 備入(昭和六・七兩年度ニ供託ノ予定)右財源ハ昭和六年
 度(夜間)学部開設ニ際シ五万円ヲ馬場鉄一ヨリ寄附、昭
 和七年度ニ田中文蔵ヨリ五万円寄附

案ノ二

(イ)以上

中央大学設立者

財団法人中央大学

昭和四年一月二十九日申請学生生徒定員変更ノ件左記ノ通認可
 ス

年月日

文部大臣

案ノ四

記

大学予科 一五六〇名

内訳

第一予科 一、三二〇名

第二予科 二四〇名

学部 一、六八〇名

内訳

昼間学部 一、三二〇名

夜間学部 三六〇名

以上

案ノ三

同上

昭和四年一月二十九日申請第二予科教員数并ニ専任教員及兼任
教員割合左記ノ通認可ス

年月日

文部大臣

教員数 二十五名

内

専任教員 十九名

兼任教員 六名

以上

同上

昭和四年一月廿九日夜間学部教員数左ノ通認可ス

年月日

文部大臣

記

教員数 四十一名

内

専任教員 二十八名

兼任教員 十三名

(注記1)

「文部省ノ昭和4・4・13ノ東專48号」

(注記2)

「東京府ノ昭和4・2・5ノ号ノ收受」六(簿冊内件名番号)

(注記3)

「㊟」

(注記4)

「㊟」

(注記5)

「完結」「要記入」「済」

(注記6)

「施行前要素再回」「スミ」

(注記7)

「至急」

(注記8)

「記録掛ノ4・4・12ノ受領」

(注記9)

〔^(抹消)供託ニ関シテハ別案処理ス〕 供託セス別ニ基本財産トシテ積立ツル予定〕

(下札)

〔種別^(抹消)わ^(加筆)一ノ四〕^(加筆)〔を三〕ノ聯繫 学則わ一ノ四ノ登録追加 /

④^(有原)件名 東京府經由、中央大学々則変更認可(夜間学部設置)、生徒定員変更並第二予科及夜間学部教員定数認可ノ番号 東專四八ノ結了年月日 昭四、三、一九ノ保存年限 ムキノ枚数 一括〕

〔自大正15年6月至昭16年11月 中央大
学 第4冊〕文部省④ 34, 10-4, 1251〕